

## 有終の美を飾ろう!

生徒指導主事 奥泉 清人

今月の生活目標は「有終の美を飾ろう」です。「有終」とは、物事を最後までやり遂げることで、「有終の美を飾る」とは物事を最後までやりとおし、立派に仕上げることで、結果が立派であることです。有終の美を飾るために、あと2カ月間、最後まで気を抜くことなく、以下の4つのことを意識して、学校生活を送りましょうと話しました。

- ・時間を守る
- ・あいさつ
- ・思いやりの言動
- ・清掃の徹底

冬服・防寒着についても話をしました。

- ・寒い人は、まず制服の下にしっかり着こみましょう。(暖かいインナーなどを着こむ。)
- ・黒タイツなどの着用も可です。また、スカートの代わりにスラックスを着用しても構いません。
- ・制服の下に体操服や部のウインドブレーカー等のズボンを着用することはできません。
- ・それでも寒い場合は、冬服の上に防寒着を着用しても構いません。(マフラーや手袋等は除く)

寒い日が続きますが、ご家庭でも温かい恰好をして登校するように、お声かけをお願いします。



## 物事の優先順位を決める

研究主任 鶴山 達也

ベネッセ教育総合研究所が全国の小学5年生～高校3年生 8,100 人を対象にアンケートし、そこから「忙しい」「もっとゆっくり過ごしたい」と感じる子どもが増加していることがわかったそうです。

1日の中でも学校に部活動、習い事に毎日の宿題などやらなければいけないことに加え、自分のやりたいこととのバランスをとることに苦勞している子どもが多いことが浮き彫りになりました。



今月は今年度最後の定期テストが控えています。テスト前は部活動停止期間となりますが、大切なのは日々の積み重ねです。抱えている『やること』を分類し、自分の中で優先順位をはっきりさせることで、自分が今何から取り掛かるべきかがはっきりと見えてきます。このような考え方は社会人としても求められる能力の一つです。1日24時間は全員に与えられた平等な時間ですが、考え方一つで充実度は大きく変わってくるのです。

